

歴史の中の真宗

「教義教団」の展開

真宗・仏教

あおき
青木

かおる
馨 著

▼A5判・上製カバー・344頁・定価8800円

2026年9月刊行



「定説」とされてきた真宗理解は本当に正しいのか。親鸞・蓮如・教如をめぐる従来の定説を史料から再検証し、「教義教団」という視点を取り入れることで、新たな真宗像を提示する意欲的な論考集。

【目次】

序

凡例

第一部 親鸞と初期真宗

第一章 仏道としての六角夢告

第二章 親鸞と初期真宗の本尊

第三章 『親鸞伝絵』を読み直す——覚如の創意

第二部 蓮如の教団形成と強化

第一章 存如の下付物をめぐって——存如から蓮如へ

コラムⅠ『三帖和讃』と声明

第二章 蓮如教学管見

第三章 親鸞と蓮如

第三部 教如の教団形成

第一章 大坂拘様終結における顕如と教如

第二章 教如教団の萌芽——天正九年の動向

コラムⅡ天正九年の親鸞聖人絵伝

第三章 教如の木仏下付について

第四章 文化人としての教如

——茶の湯から見た有力者との交流

第五章 教如をめぐる女性門徒

第六章 教如論と地方の東西分派——三河を事例に

初出一覧

あとがき

◆著者略歴

一九五四年愛知県生まれ。大谷大学大学院修士課程修了。同朋大学仏教文化研究所研究顧問、真宗大谷派蓮成寺住職、博士(文学)。主要編著・論文に、『蓮如上人絵伝の研究』(東本願寺出版部、一九九四年、共編)、『蓮如上人ものがたり』(同、一九九五年)、『蓮如名号の研究』(法蔵館、一九九八年、共編)、『大系真宗史料 伝記編6 蓮如絵伝と縁起』(同、二〇〇七年、編著)、『本願寺教団展開の基礎的研究——戦国期から近世へ』(同、二〇一八年)、『A級戦犯者の遺言 教誨師・花山信勝が聞いたお念仏』(同、二〇一九年)、『私が生まれてきた訳は——中村久子の声を聞く』(同、二〇二二年)、『清沢満之の墨蹟について』(『同朋仏教』38号、二〇〇二年二月)、『東本願寺再建絵伝』とその背景』(『同朋大学佛教文化所紀要』第25号、二〇〇五年三月)、『東本願寺(大谷家)蔵品売立と文化的側面概観(研究ノート)』(同上第43号、二〇二四年三月)など多数。

注文書

(書店印)

ご担当

様

冊

法蔵館

定価 8800円

ご住所

青木 馨 著

歴史の中の真宗

「教義教団」の展開

ISBN: 978-4-8318-7942-4 C3021

お電話

お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp